

令和元年度 中学校「学習指導・評価計画表」 教科【数学】学年【2年】

関 数学への関心・意欲・態度

見 数学的な見方や考え方

技 数学的な技能

知 数量や図形などについての知識・理解

月	単 元 材	学 習 内 容	観 点	評 価 規 準 (B) おおむね満足	判断の基準 AとBの違いなど	評価方法 場面・時期
10 ・ 11	4章 図形の 調べ方	<input type="checkbox"/> 角と平行線 <input type="checkbox"/> 多角形の角 <input type="checkbox"/> 三角形の合同 <input type="checkbox"/> 証明とそのしくみ <input type="checkbox"/> 合同条件を使った証明の進め方	関	・平行線や多角形の角などに関心を持ち、その性質を帰納的に確かめて、既習の事に帰着させるなど、図形の性質を数学的に考えようとしている。また、証明の必要性和意味を考えようとしている。	・「対頂角は等しい」など、直観的にわかることがらを、進んですじ道を立てて説明しようとしている。 ・三角形の内角・外角の性質、多角形の内角の和、外角の和について論理的に推論を進めようとし、多角形の内角の和や外角の和などを求めようとしている。	定期テスト 小テスト 単元末テスト 発表(毎時間) 机間指導(毎時間) ノート ファイル(プリント) 問題集 宿題
			見	・平行線や三角形や多角形の角についての性質などを見だし、根拠を明らかにして自分の言葉ですじ道をたてて説明することが出来る。 ・三角形の決定条件をもとにして、合同条件を見だし、二つの三角形が合同であるかどうかを考えることが出来る。	・対頂角、同位角、錯角の意味と対頂角の性質、平行線の性質、平行線になる条件などの事柄を帰納的な推論や類推を用いて考えることが出来る。 ・平行線の性質を用いて角を集め、三角形の内角・外角の性質を説明できるとともに角を集める位置を変えるなど、複数の方法で三角形の内角・外角について説明できる。 ・2組の辺と1つの角では合同条件にならないことを反例をあげて説明できる。 ・問題の条件を整理し、本当にそうなのかを吟味しながら等しい辺や角を見つけて合同条件を選ぶことが出来る。	
			技	・対頂角や平行線の性質を用いて角の大きさを求めたり、直線の位置関係などを表したりすることができる。 ・多角形の内角の和や外角の和などを求めることが出来る。 ・二つの三角形が合同であることや対応する辺や角が等しいことを記号を用いて表したり、読み取ったりすることが出来る。 ・命題の仮定や結論などを記号を用いて表したり、その意味を読み取ったりすることが出来る。	・対頂角、同位角、錯角の大きさを的確に求めることができる。 ・三角形の内角や外角を求めたり、多角形の内角の和・外角の和などを工夫して求めたりすることができる。 ・仮定や結論などを記号を用いて的確に表すことができる。 ・図形の辺や角の関係を、記号を用いて的確に表すことができる。	
			知	・対頂角、同位角、錯角、平行線の性質などを理解している。 ・帰納的な方法で示すことと、演繹的な方法で示すこととの違いを理解している。 ・多角形の内角と外角の意味とその求め方を理解している。 ・図形の合同と三角形の合同条件の意味を理解している。 ・定義や命題の仮定と結論、逆、反例の意味と証明の必要性について理解している。	・平行線の性質と平行線になる条件の区別が記号を用いた命題の形でわかる。 ・測定結果を基にした説明と、根拠を明らかにした推論による方法では、すべての三角形について説明していることを理解している。 ・合同条件を三角形の決定条件を基にして直感的に理解しているとともに、合同条件は辺や角の6要素のうち、合同かどうかを判断できる3要素であることを理解している。 ・仮定や結論の意味を理解しているとともに、証明の中での使い方を理解している。 ・成り立たない事を説明するには反例をあげることを理解している。	

12・1月	5章 図形の性質と証明	<input type="checkbox"/> 二等辺三角形 <input type="checkbox"/> 直角三角形の合同 <input type="checkbox"/> 平行四辺形の性質 <input type="checkbox"/> 平行四辺形になる条件 <input type="checkbox"/> 長方形、ひし形、正方形 <input type="checkbox"/> 平行線と面積	関	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三角形や平行四辺形の性質などに関心を持ち、それらについて調べ、証明の方法について考えたり、証明を読み、新たな性質を見いだそうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三角形や平行四辺形の性質などに関心を持ち、それらについて調べ、証明の方法について考えたり、証明を読み、新たな性質を進んで見いだそうとしている。</li> </ul>	定期テスト 小テスト 単元末テスト 発表(毎時間) 机間指導(毎時間) ノート ファイル(プリント) 問題集 宿題
			見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二等辺三角形や平行四辺形の性質や条件などを調べ証明することが出来る。</li> <li>・仮定など根拠となる事柄を明らかにし、筋道をたてて、結論を導く方法を考えることが出来る。また、図形の証明を読み、新たな性質を見いだすことが出来る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二等辺三角形の性質を調べ、構想や方針を立てて証明することができる。</li> <li>・平行四辺形になる条件を平行四辺形の性質の逆として考えることができ、それが正しいかどうかを考えることができる。</li> <li>・長方形、ひし形、正方形が平行四辺形の特別なものであるとみることができ、それらの包摂関係を考えることができる。</li> <li>・平行線と面積の関係を導くことができ、これをもとにある図形と面積が等しい図形をかくことができる。</li> </ul>	
			技	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二等辺三角形や平行四辺形の性質や条件などを記号を用いて表したり、その意味を読み取ったりすることが出来る。</li> <li>・三角形や平行四辺形の性質の証明から、辺や角の関係などを読み取ることや、証明を読んで見いだした図形の性質を記号を用いて表すことが出来る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二等辺三角形の性質やその逆などを記号を用いて的確に表すことができる。</li> <li>・平行四辺形の定義や性質を、記号を用いて表したり、手際よく辺の長さや角の大きさを求めたりすることができる。</li> <li>・平行四辺形になる条件を、記号を用いて的確に表すことができる。</li> <li>・長方形、ひし形、正方形の定義やその性質などを記号を用いて的確に表すことができる。</li> <li>・平行線と面積の関係をj用いて、面積が等しい三角形を、手際よく見つけることができる。</li> </ul>	
			知	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二等辺三角形の性質を理解している。</li> <li>・直角三角形の合同条件とその必要性を理解している。</li> <li>・平行四辺形の性質や平行四辺形になるための条件を理解している。</li> <li>・長方形、ひし形、正方形、平行四辺形の関係などを理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定義、頂角、底辺、底角、定理、逆の意味を十分に理解している。</li> <li>・斜辺の意味、直角三角形の合同条件の意味と必要性を理解している。</li> <li>・平行四辺形の定義と性質を十分に理解している。</li> <li>・平行四辺形になる条件を理解し、平行四辺形の性質との違いについても理解している。</li> <li>・長方形、ひし形、正方形の定義を理解し、四角形の包摂関係を理解している。</li> <li>・面積を変えずに図形の形を変える方法を十分に理解している。</li> </ul>	
2・3	6章 確率	<input type="checkbox"/> 確率の意味 <input type="checkbox"/> 確率の求め方	関	<ul style="list-style-type: none"> <li>・確率や確率を用いて不確定な事象を捉えて説明することに関心を持ち、その必要性和意味を考えたり、確率を求めたり、問題の解決に生かそうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・確率に関心を持ち、その必要性和意味を考えたり、実験等を通してある事象の起こりやすさを調べたりしようとしている。</li> <li>・簡単な場合について、進んで起こりうる場合を順序よく整理し、その確率を求めようとしている。</li> </ul>	定期テスト 小テスト 単元末テスト 発表(毎時間) 机間指導(毎時間) ノート ファイル(プリント) 問題集 宿題
			見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多数回の試行を行ったり、同様に確からしいことを基にして確率の意味や求め方を考えることが出来る。</li> <li>・問題を解決するために、確率を用いて、不確定な事象の起こりやすさの傾向をとらえ説明することが出来る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験や調査結果をもとに、それらから不確定な事象の起こりやすさや確率の意味について考えることができる。</li> <li>・考えた各事象が同様に確からしいことを確認し、実験をしなくても場合の数の割合として確率を求めることよさを説明できる。</li> </ul>	
			技	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多数回の試行の結果から相対度数を計算し、確率を求めることが出来る。</li> <li>・樹形図や二次元の表などを利用して、起こりうるすべての場合を求め、同様に確からしい事をもとにして、簡単な場合について確率を求めることが出来る。</li> <li>・問題を解決するために、起こりうるすべての場合の数を求めたり、確率を求めたりすることが出来る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験や調査結果の考察がしやすいように、それらを工夫してわかりやすい図や表、グラフに表すことができる。</li> <li>・いろいろな事象について、樹形図や表などを用いて確率を求めることができる。</li> </ul>	
			知	<ul style="list-style-type: none"> <li>・確率の必要性和意味を理解している。</li> <li>・確率を用いて問題を解決する手順を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・確率の必要性和意味について十分に理解している。</li> <li>・同様に確からしいことの意味、確率の求め方とその手順、確率の範囲について理解している。</li> </ul>	